

第 23 回生活機能分類専門委員会	資料 1
令和 6 (2024) 年 2 月 28 日	

WHO-FIC ネットワーク年次会議 (ICF 関連) の報告
(2021 年、2022 年、2023 年)

※WHO-FIC (WHO Family of International Classifications / WHO 国際統計分類)

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議 (2021 年オンライン開催)

開催期間：令和 3 (2021) 年 10 月 18 日 (月) ~22 日 (金)
ホスト：WHO 本部 (ジュネーブ)

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議 (2022 年ハイブリッド開催)

開催期間：令和 4 (2022) 年 10 月 17 日 (月) ~21 日 (金)
ホスト：WHO 本部 (ジュネーブ)

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議 (2023 年ハイブリッド開催)

開催期間：令和 5 (2023) 年 10 月 16 日 (月) ~20 日 (金)
ホスト：ドイツ WHO-FIC 協力センター
会場：カメハグランドホテル (ドイツ・ボン)

参加者：WHO、各 WHO 国際統計分類協力センター、各国政府厚生・統計関係部局、
NGO、オブザーバー等

【ICF 関連の主な議論及び報告内容】

1. CSAC-ICF (ICF 分類・統計諮問委員会)

(1) 2021 年

- ICF 改正 2020-2021 サイクルにおいて新しい提案はなかった。
- 新しい ICF 改正手続きは、基本的に ICD-11 の改正手続きに基づく。
- ICF 改正の議論においては、CSAC-ICF が中心的役割を果たす。従来のような FDRG レイヤーは存在しない (ただし、レビューが必要な場合、改正内容に応じた委員会・グループに依頼する方針のため、その中で FDRG が行うこともある)。
- 2017 年版は既に ICF 新プラットフォームに移行済みであり、2018 年以降の改正分は、WHO が 2021 年末までに新プラットフォームに統合する予定とされた。保留中の提案も新プラットフォームで処理される。
- 次回の ICF 改正ラウンドについて、プラットフォームは既にオープンしており、提案は 2022 年 2 月末が締め切りとなる。2020 年以降の提案で専門家の意見が必要な項目と新しい 2 提案 (b275、d250) が示された。ICF 改正の提案は Usecase に基づくものが望ましい。

(2) 2022 年

- 共同議長の選出は年次会議では投票せず、メールで投票を行う予定とされた。
※後日、日本より向野雅彦先生が共同議長として就任した。

- 2022年2月末までの9提案の検討結果が共有された。投票対象は1提案。また、1提案がFDRGにアドバイスを求めることになり、5提案が差し戻し、2提案が取り扱いを議論中である。2023年2月末がCSACの提案締め切りとなる。第1回投票が4月中旬、第2回は7月初旬開始、最終投票は年次会議の予定。
- 新しいメンテナンスプラットフォームの機能が紹介された。2018年以降の改正は未対応となっており、そのうちの一部は、CSAC ICFによって新しいプラットフォームの機能を考慮して再検討され、最終決定される必要があるとされた。
- ICF年次改定版はWHO-FIC foundationから毎年生成され、ICFのブラウザ上での表示は赤色の背景で識別される（※ICDは青）。印刷版はpdfでダウンロードできるようになる。2023年1月か2月に2023年版がリリース予定（12月初旬にプレリリース）。

(3) 2023年

- 2018年以降の改正分のうち69の改正提案について、2023年2月から10月にかけて4回の会合を行い、新しいプラットフォームに統合する上での問題を議論してきた旨の説明があった。過去にCSACで決定された内容を再度議論することについては異論があったものの、最終的に新しいプラットフォームの機能を考慮した形で統合する方向で検討を進めることになった。
- ICF年次改定版は11月にプレリリースを行い、12月にかけてレビュー、2024年2月にリリース版とするという予定が共有された。凍結していた提案手続きは11月から再開する予定。

2. FDRG（生活機能分類グループ）

(1) 2021年

- CSAC-ICFにおける今後の改正手続きが、新しいプラットフォームにおいてどのように行われるか、手続きの概要について説明があった。また、これまでの改正分については、2021年までに更新がなされる旨説明された。
- 今後の重要な取り組みとして、ICFのそれぞれの分類項目の同義語、概念に含まれる単語についての検討が行われ、CSAC-ICFやFDRGが今後その作成を担当していくことについて説明があった。
- EIC（教育普及委員会）とコーディングシナリオの作成に向け連携していく旨報告があった。
- ICHI（保健・医療関連行為に関する国際分類（仮訳））との調整、特に環境因子の項目についての整合性を図る取り組みについて報告があった。

(2) 2022年

- WHOからは、現在はICFも新しいプラットフォームへの移行中で、今後のアップデートはエビデンスやデータに基づく質の高い提案しか受け付けないように進める方針であること、ターミノロジーの充実にも取り組むことについて報告があった。
- WHOアカデミーのICD-11 V章のe-ラーニングツールについて、カリキュラムのテンプレートに沿って作成を始めたこと、作成後にFDRGのレビューを経る旨報告があっ

た。

(3) 2023年

- WHOからは、ICFの新バージョンのリリースが今後行われるとともに、FDRGにはICDやICHIとの整合性、ターミノロジーの充実についての取り組みに期待する旨発言があった。
- ICFターミノロジーに関する各国の取り組み状況について共有された。
- ICD-11 V章のe-ラーニングツールの改訂状況について報告があった。

International Classification of Functioning, Disability and Health (2024-01)

2024年2月リリース

<https://icd.who.int/browse/2024-01/icf/en>

The screenshot shows the WHO International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF) 2024-01 website. The header is red with the title "International Classification of Functioning, Disability and Health 2024-01" and a language selector "EN". Below the header is a search bar with the placeholder text "Type for starting the search" and three navigation buttons: "Browse", "Coding Tool", and "Info". The main content area is split into two columns. The left column contains a tree view with the following items: "International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF)" (expanded), "ICF Category", and "ICF Qualifier". The right column displays the title "International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF)" under a horizontal line.